

< 報道発表資料 >

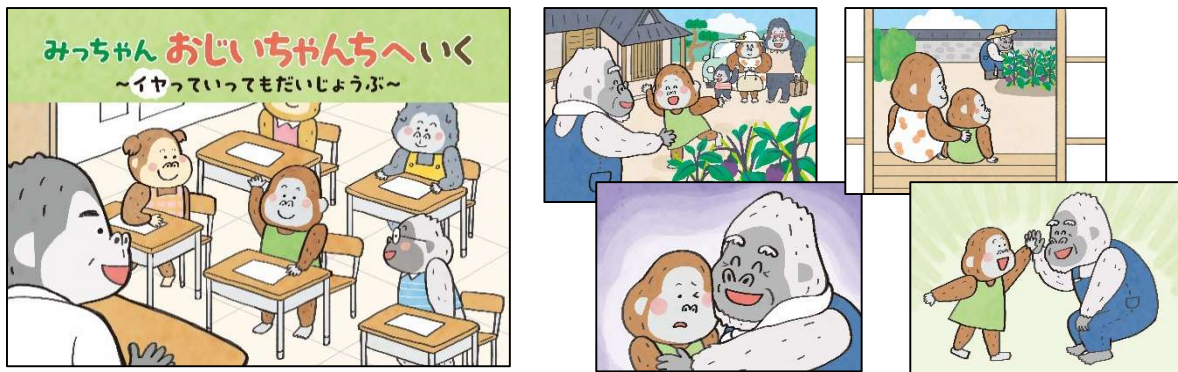
令和 8 年 6 月 1 日

京都市北区役所健康福祉部健康長寿推進課

京都市北区役所子どもはぐくみ室

北区オリジナル紙芝居 「みっちゃん おじいちゃんちへ いく」の作成

幼児期からの健康意識の向上を目的に、「包括的性教育（身体や生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、幸福など、幅広いテーマを含む教育）」に関することを楽しみながら学んでもらうため、専門家（助産師、保育士）監修のもと、感情の尊重とコミュニケーションをテーマに、北区オリジナルの紙芝居の第 2 弾を作成しました。



※ 紙芝居データ（PDF）

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kita/page/0000352892.html>（京都市情報館）

【概要】

○題 名：「みっちゃん おじいちゃんちへいく ～イヤっていてもだいじょうぶ～」
(B4、16枚)

○監 修：株式会社 PLATICA
(代表取締役 渡邊安衣子氏（助産師）、取締役 原田ゆうこ氏（保育士）)

○作成部数：50部

○内容：

主人公”みっちゃん”が経験した夏休みのある1日を通して、「大好きだけど、これはイヤ」という、誰の心にもある小さくて複雑な本音をどう伝えていくか、を描いた紙芝居です。

○物語の抜粋：

- ・ 主人公は小学校に通うゴリラの子ども”みっちゃん”。
- ・ 夏休みに家族でおじいちゃんちに遊びに行くと、おじいちゃんが「よくきたね」とみっちゃんをぎゅっと抱きしめます。
- ・ みっちゃんは、おじいちゃんのことを大好きでおじいちゃんとお遊ぶことを楽しみにしていたはずなのに、なんだか気持ちがモヤモヤします。

- ・ 小さいころは、おじいちゃんに抱っこされることが好きだったみっちゃん。今もおじいちゃんのことを好きだけど、ぎゅっとされたときにイヤな気持ちになりました。
- ・ みっちゃんは、お母さんに相談し、おじいちゃんに気持ちを伝えることにします。
- ・ おじいちゃんは、みっちゃんの「イヤ」という気持ちを受け止め、みっちゃんのお話を嬉しそうに聞いてくれました。
- ・ みっちゃんは、心がすっきりして笑顔が戻りました。

○ねらい：

この紙芝居は、包括的性教育の考え方をもとに、子どもたちが「自分も相手も大切にしながら、心地よい関係を築く力」を育むことを目的とし作成しました。感情表現の仕方や相手を思いやりながら意見を交わすコミュニケーションについて、子どもも大人も”みっちゃん”と一緒に考えてもらうきっかけづくりとしていただくことがねらいです。

【紙芝居の配布先、活用方法】

- 北区内の小学校、児童館、保育園・幼稚園及び北図書館（※）に配布
※北図書館では、7月以降に利用（閲覧や貸出し）が可能になる見込みです。
- 地域団体等への貸出し
- 紙芝居データ（PDF）の公開（京都市情報館） ※ダウンロード可
- 紙芝居読上げ動画の公開（京都市情報館）

<貸出し・お問合せ先>

京都市北区役所健康長寿推進課健康長寿推進担当

電話：075-432-1438

<参考>

- 北区オリジナル紙芝居（第1弾）「かっちゃん はなみず でた」
令和6年度に境界線と同意をテーマに作成した紙芝居。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/kita/page/0000341502.html>

